

授業科目 運動傷害評価実習

【担当教員名】 永野 康治		対象学年	3・4	対象学科	スポ
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	◎	○	◎	
【概要・一般目標：GI0】 アスレティックトレーナーとして必要とされる検査、測定方法およびその評価方法について理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. アスレティックトレーナーに必要な検査、測定を実施する。 2. 検査、測定を正確に行うよう工夫する。 3. 検査、測定の結果を統合し、レポートを作成する。 4. 検査、測定の結果から身体機能を評価し、その改善プログラムを立案する。 					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	オリエンテーション、情報収集について	1	実習、レポート		
2	姿勢・アライメントの計測・測定	2,3	実習、レポート		
3	身体周径、長さの計測・測定	2,3	実習、レポート		
4	関節弛緩性の検査・測定	2,3	実習、レポート		
5	関節可動域計測の基礎	2,3	実習、レポート		
6	関節可動域の検査・測定：上肢	2,3	実習、レポート		
7	関節可動域の検査・測定：下肢	2,3	実習、レポート		
8	筋タイトネスの検査・測定	2,3	実習、レポート		
9	筋力の検査・測定 上肢	2,3	実習、レポート		
10	筋力の検査・測定 体幹	2,3	実習、レポート		
11	筋力の検査・測定 下肢	2,3	実習、レポート		
12	歩行・走行の評価	2,3	実習、レポート		
13	スポーツ動作の評価	2,3	実習、レポート		
14	検査・測定結果の評価	3,4	実習、レポート		
15	まとめ	1	講義		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		公認アスレティックトレーナー専門科 目テキスト5：検査・測定と評価	財団法人 日本体育 協会	財団法人 日本体育 協会	
参考書		新・徒手筋力検査法	津山 直一（翻訳）	協同医書	2008・7,875円
その他の資料					
【評価方法】 出席、レポート：30 期末レポート：30 定期試験：40		【履修上の留意点】 授業は実習を行い、そのレポートを毎回提出する形式で行う。 すべての評価項目を網羅する必要があるため、欠席者は各自補習を行う必要がある。			